

与那国島で採集されたヒメナガコメツキについて

鈴木 互

〒 211-0031 川崎市中原区木月大町 6-1 法政大学第二高等学校生物科 (wsuzuki@hosei2.ed.jp)

Notes on *Parabetarmon carinicephalus* (Miwa) (Coleoptera: Elateridae) collected from Yonaguni-jima Island of the Ryukyu Islands, Japan

Wataru SUZUKI

Summary. An elaterid species, *Parabetarmon carinicephalus* (Miwa, 1931), is recorded from Yonaguni-jima Island for the first time and briefly redescribed based on a male specimen.

ヒメナガコメツキ *Parabetarmon carinicephalus* (Miwa, 1931) は、台湾、西表島、石垣島、竹富島から 5 例の採集記録があるにすぎない珍しい種である (Miwa, 1931; Ôhira, 1970; 有本, 2005; Arimoto, 2013; 水野・岸井, 2014)。筆者は、これまで記録のなかった与那国島で採集された標本を検査する機会を得たので、ここに記録し、本種の特徴的な形態を图示しておく。

報告するに当たり、貴重な標本をご恵与くださった川口市の井上富夫氏、本種についてご助言を頂いた大阪市の有本久之氏に厚くお礼申し上げます。

1♂ (Figs. 1–10), 沖縄県八重山郡与那国町祖内 (PM 9:00), 18. V. 1981, 井上富夫採集 (筆者保管)。

形態. 体長: 8.3 mm. 体は褐色であるが、頭部、前胸背板はやや暗色となる。頭部前縁は前方に張り出し、中央部でやや強く丸まる; 正中部に 1 本の縦隆線を持つが、基部では消失する。表面は臍状の点刻を密布する。上唇は半円状で、強く膨隆する。触角は各節に縦隆線を伴い、先端節は前胸後角にかろうじて届く程度; 第 2 節は短小で垂球形、3 節は 2 節に比べわずかに長く、これら 2 節を合わせたものは、4 節とほぼ同長 (Fig. 4)。前胸背板は前方に徐々に狭まり、中央部にお

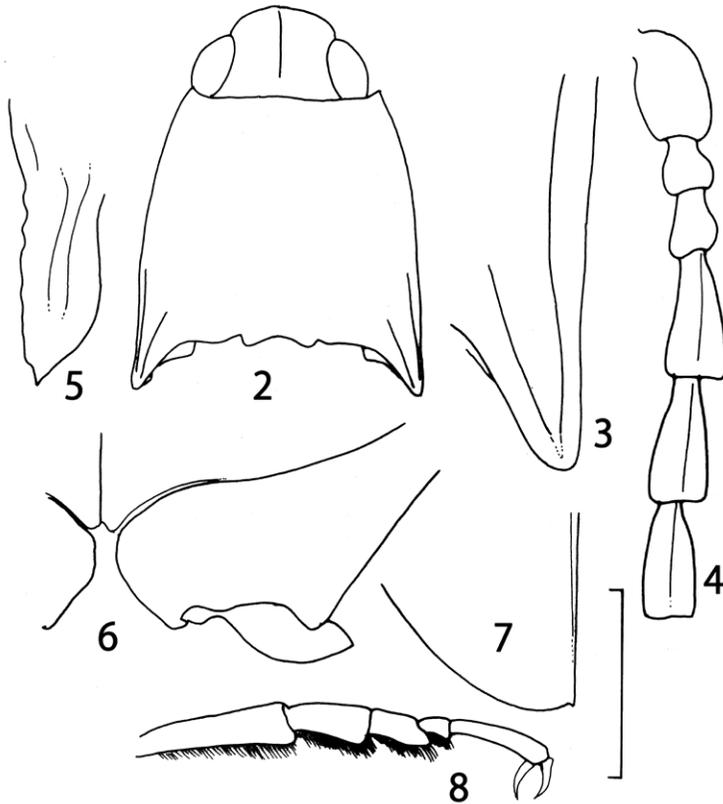


Fig. 1. *Parabetarmon carinicephalus* (Miwa) from Yonaguni-jima Island, southwest Japan, ♂.

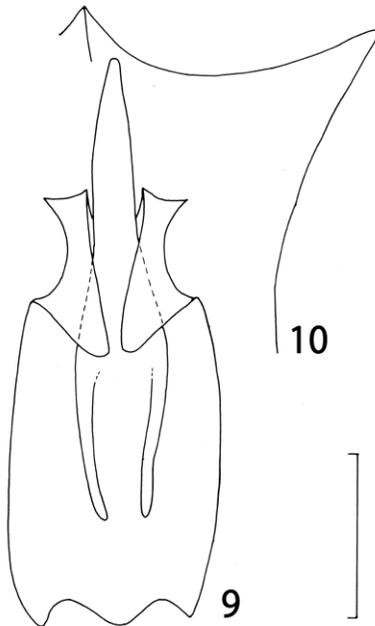
いて長さと同幅が等しい; 背面は前方で強く膨隆し、点刻は明瞭; 中央部における点刻間の距離は各点刻の直径より広い; 後角には 2 本の隆起線を伴うが、外側の隆起線は内側のものより長く、前胸背板の基部 1/3 に達する; 後角先端は後方に突出し、狭く丸まる。小楯板は細長い舌状に近く、基部を除き、やや強く膨隆する。上翅は、細長く肩幅の 2.65 倍に等しい; 条線は弱い、深くて小さい点刻を伴う; 翅端会合部には短く、小さな突起をもつ (Fig. 8)。前胸腹板突起は水平で、細長く、先端はやや尖る (Fig. 5)。雄交尾器: 1.02 mm. 中央片は細長く、側片より著しく後方に突出し、先端は尖る (Fig. 9)。側片先端部は切断状だが、浅く湾入し、外角は強く突出し、先端が尖る (Fig. 10)。

本種は、台湾の Anping で採集された個体に基づいて Miwa (1931) により *Neotrichophorus* 属の種として命名記載されたが、Ôhira (1970) は西表島産の雄個体を検した結果に基づいて、新属 *Parabetarmon* を設立したので、現在の学名は上記のようになっている。

新属設立の際に重視された形質の中で、特異であったのが前胸後角先端部に円形の深い凹陷部をもつことであったが、有本 (2005) が、西表島から本種を再発見した際に明らかにした全形写真では前胸後角先端部の形状は正常で、凹陷部を欠くものであった。当時、有本氏にこの件についてうかがったところ、「有本 (2005) では明記しなかったが、記録した西表島産の個体は、前胸後角の形状以外の形質すべてが Ôhira (1970) と一致した」との返信を頂いた。また、最近、改めて確認をとったところ、「Ôhira (1970) に用いた標本も調査したが、左右の前胸後角先端部は折れたものであることは間違いなく、その位置は、左右で明らかに異なっていた」との返信を頂いた。筆者も今回の記録をするにあたり、雄交尾器の形状も含め Ôhira



Figs. 2–8. *Parabetarmon carinicephalus* (Miwa). ♂. 2, head and pronotum; 3, right posterior angle of pronotum; 4, basal 6 segments of right antenna; 5, prosternal process, lateral view; 6, left hind coxal plate; 7, apex of left elytron; 8, left mid tarsus. Scale: 1.6 mm for fig. 2, 0.5 mm for figs. 3–8.



Figs. 9–10. *Parabetarmon carinicephalus* (Miwa). 9, male genitalia, dorsal view; 10, apical portion of left paramere, dorsal view. Scale: 0.3 mm for fig 9, 0.05 mm for fig. 10.

(1970)と比較したが、前胸後角先端部の形状以外が一致した。また、台湾省農業試験所に保管されている本種のタイプ標本でも前胸後角先端部の形状は正常で、有本 (2005) で示された写真とも一致することを確認したので、与那国島産の個体は本種と同定した。

琉球には、似たような褐色のコメツキムシが何種も知られているが、頭部に正中線に沿って明瞭な縦隆線をもつこと (Fig. 2)、前胸背後角の縦隆線は2本であること (Fig. 3)、後脚基節板後縁は後方に伸展し角張ること (Fig. 6)、跗節は単純で下面には毛を密生するが、膜状片を欠くこと、爪は単純であること (Fig. 7)、そして特徴的な雄交尾器の形状などの特徴を併せ持つことにより (Fig. 9)、本種と識別することができる。

本種の生態については、Arimoto (2013) が海浜植物の叩き網で採集したという事例を報告している以外、まったく明らかにされていない。今回記録した個体は、夜9時に採集したとあり、本種が夜間活動性である可能性を示唆している。

引用文献

- 有本久之, 2005. 西表島で採集されたコメツキムシ2種. 甲虫ニュース, (150): 10.
- Arimoto, K., 2013. New record of *Parabetarmon carinicephalus* (Coleoptera, Elateridae) from Ishigaki-jima Island of the Ryukyus, Japan. *Elytra*, New Series, 3: 83.
- Miwa, Y., 1931. H. Sauter's Formosa-Ausbeute (Elateridae II). *Wiener entomologische Zeitung*, Wien, 47: 205–208.

- 水野弘造・岸井 尚, 2014. 初宿成彦編, 大阪市立自然史博物館 所蔵 甲虫類目録 (3) コメツキムシ科 (1). 大阪市立自然史博物館収蔵資料目録, 46: 113–198.
- Ôhira, H., 1970. The Elateridae of the Ryukyu Archipelago, VIII (Coleoptera). *The Bulletin of Aichi University of Education*, 19 (Natural Science): 103–111, 1 pl.

(2016年5月17日受領, 2016年9月23日受理)

【短報】ナカネメダカオオキバハネカクシ大阪府から初記録

ナカネメダカオオキバハネカクシ *Megalopinus japonicus* (Nakane, 1957) は、奈良県と高知県を基産地として記載されたキノコ食性の特徴のあるハネカクシ科甲虫である (図1)。近接県として大阪府からの記録はないと思われるので、分布解明の一助として報告する。なお、今回は細い立ち枯れの根際に生えたタコウキン科の幼菌、おそらくウチワタケかつヤウチワタケと思われるものから採集された。

1♂, Mino-o Park, Osaka Pref., 31. V. 2016, S. Sugimoto leg.

本種以外の同属の日本産は比較的最近記載されたものが多く (Naomi, 1986, 1996; Naomi



図1. 全形図 (大阪府産)。

et al., 2014, 2015), 本種の古い記録には近似種との区別をされていない可能性も指摘されている。この機会に筆者らの手許の標本で、2015年に直海俊一郎博士らの提起した検索表に基づき本種と同定出来たもののデータも報告しておきたい。

他の検視標本: 1♀, Yohoro, Maizuru, Kyoto Pref., 25. VI. 1994, H. Mochizuki leg.; 1♂, Mt. Yourou, Maizuru, Kyoto Pref., 5. VI. 2000, K. Yasukawa leg.; 1♂, Oisugi Forest, Kutsuki, Shiga Pref., 19. VI. 2010, K. Hosokawa leg.; 1♂, 1♀, Mt. Iwao, Kouga, Shiga Pref., 26. VI. 2005, M. Yamamoto leg.; 2♀♀, Nara Park, Nara Pref., 20. VI. 1998 & 27–28. VI. 2003, K. Akita leg.; 1♂, ditto, 1. VII. 1997, K. Masaki leg.; 1♀, ditto, 10. VI. 2016, S. Sugimoto leg.; 1♂, Mt. Obako, Nara Pref., 23. VII. 1989, T. Hatayama leg.; 1♀, Daisen, Kidani-

zawa, Tottori Pref., 27. VI. 2009, O. Yamaji leg.; 1♂, Uetsuno-dani, Kamiyama, Tokushima Pref., 16. VI. 2002, M. Yoshida leg.

これらの標本の採集に努力された望月寛人, 山本雅則, 安川謙二, 畑山武一郎, 正木清, 吉田正隆, 細川浩司, 秋田勝己 (順不同) の全諸氏に敬意を表する。

引用文献

- Nakane, T., 1957. Eine neue Art der Gattung *Megalopsidia* aus Japan. *Insecta Matsumurana* 21: 53–55.
- Naomi, S.-I., 1986. Taxonomic study of the subfamily Megalopininae (Coleoptera, Oxyporidae) of Japan, with descriptions of two new species. *Kontyû*, Tokyo, 54: 344–352.
- Naomi, S.-I., 1996. Two new species of the family Staphylinidae (Coleoptera) from Japan. *New Entomologist*, 45: 69–73.
- Naomi, S.-I., & Y. Hirano, 2014. A new species of the subfamily Megalopsidiinae (Coleoptera, Staphylinidae) from Okinawa Is., Japan. *Elytra*, New Series, 4: 293–297.
- Naomi, S.-I., & S. Nomura, 2015. The genus *Megalopinus* Eichelbaum (Coleoptera, Staphylinidae, Megalopsidiinae) of Japan, with description of a new species. *Elytra*, New Series, 5: 27–36.

(伊藤建夫 614-8371 八幡市男山雄徳 7, E12-102)
(杉本眞次 666-0006 川西市萩原台西 3-93)